

LUXMAN

INTEGRATED AMPLIFIER
L-507u



VO

18

20

24

30

38

50

63

75

SE SELECTOR

stereo right ch. mono

TONE CONTROL

bass treble

BALANCE

center

line straight

The bottom section of the image shows the control panel of the amplifier. It features a large volume knob on the right side with a scale from 18 to 75. Below the volume knob are several control knobs and buttons: a "SE SELECTOR" knob with "stereo", "right ch.", and "mono" positions; a "TONE CONTROL" section with "bass" and "treble" knobs; a "BALANCE" knob with a "center" position; and a "line straight" button.

瑞々しさと力強さのイン

プリアンプを選ぶ理由。それは豊富な機能を容易に操作できること、

限られたスペースの中で高性能が実現されていること、

すなわち、それはワンボディであることに集約されるのではないのでしょうか。

もちろん、音楽を堪能するための音質は最優先にしたい…。そんな想いの前に姿を現すのがL-507uです。

ラックスマン独自の負帰還回路「ODNF」の最新バージョン3.0をプリアンプに初搭載。

200W+200W(4Ω)という余裕のパワーは卓越したドライバビリティの証です。

加えて強靱な電源ブロックやこだわりのカスタムパーツ群も惜しみなく投入。

磨かれたテクノロジーによる瑞々しさと、充実したスピーカー駆動力による力強さが

見事にインテグレーションを果たしました。

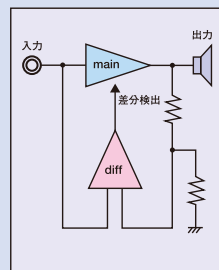
落ち着いたブルーのメーターライトとヘアライン仕上げのトップパネルを纏ったソリッドな佇まいとともに、

L-507uはミドルクラスアンプの新たな存在意義を標榜します。



最新のODNF回路バージョン3.0を採用

増幅回路の出力から歪成分のみをフィードバックし、初期スルーレートの速さと超広帯域、低歪を実現した、ラックスマン独自の負帰還回路ODNF (Only Distortion Negative Feedback)。それは1999年の登場以来、たゆまない進化を続けています。L-507uにはSACDプレーヤーのフラグシップモデルD-08に搭載されたVer.3.0を、プリアンプとして初めて採用しました。最大のポイントはディフェレンシャル回路の入力段をパラレル化し、誤差検出精度を飛躍的に向上させたこと。歪率やS/N比を大幅に改善し、緻密でダイナミックな音楽表現を獲得しました。



負荷変動に柔軟に追従するパワーブロック

L-507uが目指したのは、一体型アンプでありながらあらゆるスピーカーとそのインピーダンス特性に柔軟に対応すること。そこで実現させたのが、増幅回路ファイナル段のパラレルプッシュプル構成によるセパレートアンプにも匹敵する、110W+110W(8Ω)~200W+200W(4Ω)という高いドライブ力です。プリアンプの多機能性を追求しながら、それぞれの回路ステージでセパレートアンプと同等のグレードを備えてこそラックスマンのプリアンプたり得る。長年に渡るオーディオ専門メーカーとしての矜持がここにも息づいています。



L-507uパワーアンプブロック

テグレーション。

強靱な電源ブロックが 高い瞬発力をサポート

逐次変化する音楽信号にリアルタイムに追従するため、電源トランスには高いレギュレーションを誇るEIタイプを採用しました。また、徹底的な試聴・吟味を重ねカスタム製作した10,000 μ F×4本の大容量ブロックコンデンサーとの組み合わせによるハイイナーシャ(高慣性)電源が、この強靱かつ高い瞬発力を実現し、音楽のダイナミズムを見事に伝えます。



EI型トランスで構成された大容量電源ブロック

トップパネルは ソリッドなヘアライン仕上げ

ブラスターホワイトの本体カラーとスクエアなフォルム、それにリスニングルームに映える青色LEDの照明を搭載したパワーメーターは、ラックスマンにおけるプロダクトデザインの系譜を受け継ぐもの。加えてL-507uでは、ヘアライン仕上げのトップパネルをプリメインアンプとしては初めて採用しました。細かく刻まれたラインのひとつひとつが、他のモデルとは異なる先鋭的かつ高級感あふれる風貌を与えます。



精緻な仕上げのヘアライン・トップパネル

音楽信号の純度を高める ループレスシャーシ

L-507uでは、性能と音質を高度にバランスさせたテクノロジーやパーツをふんだんに投入しているだけでなく、ハイエンドモデルにも匹敵する巧みな筐体構造を採用しています。本体において、筐体アースがループを構成しない独立コンストラクションのループレスシャーシを採用。これによって、シャーシ上の迷走電流によるアースインピーダンスの上昇や、音楽信号の伝送経路に悪影響を及ぼす磁界の発生を根本から押さえ込むことに成功しました。

プリ・パワーをワンタッチで分離 AV共存も可能

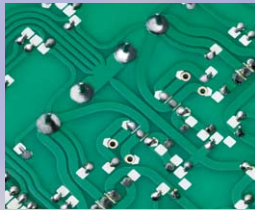
スイッチひとつで、プリ・パワーの回路ブロックを分離することができます。パワーアンプを追加したバイアンプ方式や、プリアンプを組み合わせることでの、システムのグレードアップが可能です。また、サラウンドシステムを構築済みの場合、マルチチャンネル再生時は本機をパワーアンプとし、フロントスピーカーとつなぐことで、既存のシステムと共存しながら、ステレオ再生時の高音質化が図れます。



セパレートスイッチ

基板の素材や 配線パターンへのこだわり

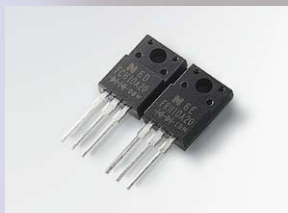
すべての回路ブロックには、剛性の高いガラス繊維製基板を採用。配線はデリケートな音楽信号の流れに配慮し、滑らかな曲線を描き、ストレスなくスムーズな電流伝送を実現する伝統的なラウンド配線パターンです。音楽をより深く豊かに堪能していただくため、ラックスマンはこうした細部にまで手を抜くことはありません。



配線パターンの形状にもこだわるPCB

上位機種様の セレクターICやショットキーダイオード

セレクターやスイッチICには、フラグシップ・プリアンプC-1000fなどに搭載されたハイレベルなパーツを組み込むことで、セパレーションとクロストーク性能を飛躍的に高めました。また、電源整流回路には、ショットキーバリア・ダイオードを採用。動作ノイズが少なく、直流電圧への変換効率も高いのが特長です。



日本インター製ショットキーバリア・ダイオード

技術と感性で磨き上げられた こだわりのカスタムパーツ群

内部配線には、各芯スパイラルラップ・シールドと芯線の非メッキ処理を施した独自のOFCワイヤーを採用。これにより自然な信号伝送を実現しました。また、抵抗やコンデンサー



高音質を支えるカスタムパーツ群

MM/MC対応のフォノ回路や スピーカー切替スイッチ

フォノイコライザーアンプを別途用意することなく、本格的なアナログレコード再生を堪能できるMM/MC対応のフォノ回路を内蔵しています。また、AとB 2系統のスピーカー切替スイッチもフロントパネルに装備。異なる2種類のスピーカーを、スイッチひとつで切り替えて楽しむことができます。つまり、このワンボディに、入力、出力それぞれにさまざまなコンポーネントが接続可能。それはオーディオという趣味を一層充実したものにするきっかけになるでしょう。

さらなるグレードアップを サポートするフィーチャー

フロントパネルにはヘッドフォン出力端子を装備。高性能なヘッドフォンを接続することで、贅沢なダイレクトリスニングの世界を楽しむことができます。また電源コネクタには、



非磁性処理の施されたACインレット

非磁性ニッケル処理と金メッキを施したハイグレードな無垢の真鍮端子を装着。純正以外の高級電源ケーブルの装着も確実にサポートする、ACインレット方式を採用しています。

入力端子には 新素材銅アロイ製を採用

LINE-1入力には、フラグシップ・セパレートアンプ1000シリーズ同様、銅と同等の導電率と真鍮の硬度を併せ持つ、新素材銅アロイ製の高性能端子を20mmピッチで装着しました。また、スピーカー端子には極太の高級



銅アロイ製ライン入力端子

ケーブルやYラグ端子、バナナ端子にも対応する新開発の大型タイプ端子を採用しました。

標準付属のアルミ製高級リモコンと リファレンス電源ケーブル

リスニングポジションにいながらにして、電源のオン/オフを含む主要な機能のコントロールが可能なアルミ製高級リモコンを標準で付属しています。また、電源ケーブルはJPA-10000が付属。ノンツイスト構造を採用し、聴感上の周波数のうねりを排除。

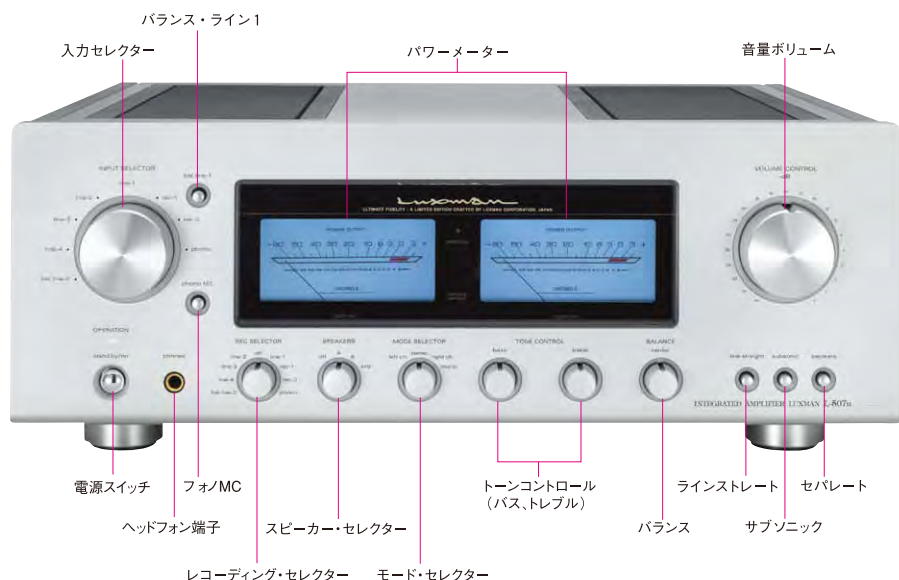
ナチュラルで伸びやかな音質が得られるラックスマンのリファレンスモデルです。



電源ケーブルJPA-10000



アルミ製リモコン



SPECIFICATIONS

連続実効出力	110W+110W(8Ω)、200W+200W(4Ω)
入力感度 / 入力インピーダンス	PHONO (MM): 2.5mV / 47KΩ PHONO (MC): 0.3mV / 100Ω LINE: 180mV / 42KΩ BAL.LINE: 180mV / 79KΩ MAIN-IN: 1.05V / 51KΩ
出力電圧	RECORDER: 180mV PRE-OUT: 1V
周波数特性	PHONO: 20Hz~20KHz (±0.5dB) LINE: 20Hz~100KHz (+0, -3.0dB)
全高調波歪率	0.004%以下 (8Ω, 1KHz) 0.03%以下 (8Ω, 20Hz~20KHz)
S/N比 (IHF-A)	PHONO (MM): 91dB以上 PHONO (MC): 75dB以上 LINE: 107dB以上
増幅回路	ODNF3.0
出力構成	バイポーラ・パラレルPP
電源トランス	EI型560VA
ダンピングファクター	190
トーンコントロール最大変化量	BASS: ±10dB at 100Hz TREBLE: ±10dB at 10KHz
電源電圧	AC100V(50 / 60Hz)
消費電力	250W (電気用品安全法の規定による) 84W (無信号時)、1.2W (スタンバイ時)
外形寸法	467(幅)×179(高さ)×430(奥行き)mm
重量	22.5kg (本体)
付属品	リモコン(RA-9) 電源ケーブル (JPA-10000)



リモコン (RA-9)



内部構成

音楽の生命力を引き出す、オリジナルメカ「LxDTM」搭載のステレオ専用SACD/CDプレーヤー

新開発のオリジナルドライブメカ「LxDTM」、132dB (理論値) という驚異的なダイナミックレンジを誇る最新のDAC、そしてアンプ作りのノウハウを結集した高音質アナログ出力回路。これら、デジタルプレーヤーを構成するメカニズム・デジタル回路・アナログ回路の三要素全てにラックスマンが培ってきた技術の全てを注ぎ込んだ、ステレオ専用のSACD/CDプレーヤーです。

※ LxDTMはLuxman original Disc Transport Mechanismの略称です。

SUPER AUDIO CD PLAYER D-06



JANコード：495813601039-3

SUPER AUDIO CD PLAYER D-05



JANコード：495813601040-9

⚠️ 安全に関するご注意

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。
- 水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電等の原因となることがあります。

※規格および外観は予告なく変更することがあります。
※本カタログ掲載製品にはラインケーブル類は付属しておりません。別途お買い求め下さい。



携帯電話向けサイト
「LUXMAN MOBILE」
www.luxman.co.jp/m/

LUXMAN

ラックスマン株式会社 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜1-3-1
tel.045-470-6991 fax.045-470-6997 www.luxman.co.jp

